

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム（五ヶ瀬川流域）

1 流域の特色（国有林 21千ha、民有林 113千ha）

本流域は、宮崎県の北部に位置し、延岡市、西臼杵郡を包括する1市3町に所在している。

九州脊梁山地は、祖母傾国定公園、九州中央山地国定公園に指定され、更に一部県指定の自然環境保全区域になっており、自然環境の保全、形成、学術研究等に重要な役割を果たしている。一方、渓谷等は優れた景観をなし保健休養の場として親しまれているとともに、下流域の水ガメとしての役割も担っている。

国有林は、水源かん養機能や保健文化機能等を活用して、「国民の森林」の実現に向けた取組や希少種をシカの食害から守るための取組など林業・林産業振興等に民・国連携して取り組むことが重要な課題となっている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- 関係機関と連携した希少植物の保全事業の実施
- 林業技術の向上を目指した協議会、意見交換会等の実施
- 下流域の住民に対する森林・林業の役割等の普及
- 治山事業の紹介等安全・安心への取組

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- 国有林における間伐材利用の推進及び民・国一体となった未利用材等の安定供給
- 需要拡大を目的としたセミナー・研修会の開催
- 環境に配慮した作業路、壊れにくい作業道開設のための現地研修の実施
- シカ等鳥獣被害対策技術の開発及びシカ捕獲
- 造林の低コスト化についての技術開発
- 新たな森林施業システム（列状間伐等）の導入に向けた情報交換
- 「緑の雇用担い手対策事業」の研修のためのフィールドの提供
- 民・国連携した希少動植物の保護及びシカ防護ネットの補修などの実施
- 生物多様性保全のための地域計画の策定
- 民・国連携した森林環境教育等の実施

4 国有林野事業が率先して行う取組

①計画的な木材供給の推進

- ア）目標：間伐材の利用促進、林地残材等未利用材の利用推進、システム販売の推進
- イ）連携・協力機関：流域内市町村、宮崎県（西臼杵支庁、東臼杵農林振興局）、林業事業体等
- ウ）取組方向：未利用材の利用推進検討会等の開催、安定的、計画的な木材供給

②森林施業の効率化・共通化等の取組

- ア) 目標：森林共同施業団地の設定、ライフサイクルの森造成事業による海岸保安林の整備
- イ) 連携・協力機関：宮崎県（西臼杵支庁、東臼杵農林振興局）、流域内市町村、森林所有者、地元ロータリークラブ、緑の少年団、地域住民等
- ウ) 取組方向：森林整備推進協定の締結に向けた取組、植樹等による海岸林の整備

③林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

- ア) 目標：針広混交林化を目指した協議会の実施、「長期育成循環施業実施箇所」の意見交換会等実施、新たな林業技術の意見交換会等の実施、緑の雇用等への協力
- イ) 連携・協力機関：宮崎県（西臼杵支庁、東臼杵農林振興局）、流域内市町村、霧立越の歴史と自然を考える会、林業事業体、地区住民代表、地元施設代表等
- ウ) 取組方向：景観を考慮した間伐協議会の実施、「誘導伐実施箇所」における意見交換会等の実施、省力造林等の林業技術情報の発信や意見交換会の実施、「緑の雇用担い手対策事業」の研修のためのフィールドの提供

④安全・安心への取組

- ア) 目標：治山事業の紹介及び木材を利用した工法のPR
- イ) 連携・協力機関：関係自治体、地区代表者等
- ウ) 取組方向：治山工事箇所の現地見学会の開催及び木材を利用した工法（木製防風棚等）のPR

⑤生物多様性保全に配慮した取組の推進

- ア) 目標：鳥獣被害対策に係る現地調査等の実施
- イ) 連携・協力機関：関係自治体、林業事業体等
- ウ) 取組方向：「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」の実施による調査成果等を踏まえた鳥獣被害対策

⑥上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

- ア) 目標：関係機関等と連携した希少植物の保全事業の実施及び海岸林クリーン活動等の実施、関係機関等と連携した森林環境教育、林業体験活動の実施
- イ) 連携・協力機関：関係自治体、ボランティア団体、地区住民、五ヶ瀬川流域森林・林業活性化センター、関係森林組合、教育機関等
- ウ) 取組方向：シカ食害防止ネットの設置等による希少植物の保全事業の実施、海岸林クリーン活動の実施、都市住民を対象にした森林・林業体験ツアーの実施、「お届け講座」、「自然観察会」、「体験林業」等の実施

流域名・流域番号	五ヶ瀬川流域（145）	担当部署	宮崎北部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム（耳川流域）

1 流域の特色（国有林 12千ha、民有林 135千ha）

本流域は、宮崎県北部に位置し、日向市及び東臼杵郡を包括する1市2町2村に所在している。

昭和30年代からの拡大造林によってスギを主体とした森林資源が豊富であり、今後、国産材供給基地として期待され、木材産業への依存度も高い。

また、国有林は国土の保全、水源かん養等公益的機能等を発揮させるために「国民の森林」の実現に向けた取組や希少種をシカの食害から守るための取組、海岸保安林の整備など、林業・林産業振興等に民・国連携して取り組むことが重要な課題となっている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- 関係機関と連携した希少植物の保全事業の実施
- 林業技術の向上を目指した協議会、意見交換会等の実施
- 下流域の住民に対する森林・林業の役割等の普及・啓発

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- 民・国一体となった未利用材等の安定供給及びバイオマス発電等への利用推進
- 木質系材料のリサイクル利用の取組
- 環境に配慮した作業路開設の研修会の開催
- 森林施業効率化に向けた情報交換の実施
- 巨樹、巨木を保全するための地域の取組
- 造林の低コスト化についての技術開発
- 間伐展示林（列状間伐等）の設置
- 林業事業体向けの林業技術研修会の実施
- 地域住民等を対象とした防災情報等の発信
- シカ等鳥獣被害対策技術の開発
- 森林病虫害対策
- 生物多様性保全に関するモニタリング調査の実施
- 環境問題等に関する森林教室・自然観察等の開催
- カーボンオフセットの調査研究

4 国有林野事業が率先して行う取組

①計画的な木材供給の推進

ア) 目標：間伐材の利用促進、林地残材等未利用材の利用推進、システム販売の推進

イ) 連携・協力機関：流域内市町村、宮崎県東臼杵農林振興局、林業事業体等

ウ) 取組方向：未利用材の利用推進検討会等の開催、安定的、計画的な木材供給

②森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標：森林共同施業団地の設定

イ) 連携・協力機関：宮崎県東臼杵農林振興局、流域内市町村、森林所有者等

ウ) 取組方向：森林整備推進協定の締結に向けた取組

③林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標：「長期育成循環施業実施箇所」の意見交換会等実施、新たな林業技術の意見交換会等の実施、緑の雇用等への協力

イ) 連携・協力機関：宮崎県東臼杵農林振興局、流域内市町村、林業事業体等

ウ) 取組方向：「誘導伐実施箇所」における意見交換会等の実施、省力造林等の林業技術情報の発信や意見交換会等の実施、「緑の雇用担い手対策事業」の実施に伴う研修のためのフィールドの提供

④安全・安心への取組

ア) 目標：治山事業の紹介及び木材を利用した工法のPR

イ) 連携・協力機関：関係自治体、地区代表者等

ウ) 取組方向：治山工事箇所の現地見学会の開催及び木材を利用した工法（木製井桁工等）のPR

⑤生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標：鳥獣被害対策に係る現地調査等実施、森林病虫害対策

イ) 連携・協力機関：関係自治体、林業事業体等

ウ) 取組方向：「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」の実施による調査成果等を踏まえた鳥獣被害対策、松くい虫防除の実施

⑥上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標：関係機関等と連携した希少植物の保全事業の実施及び海岸林クリーン活動等の実施、関係機関等と連携した森林環境教育、林業体験活動の実施

イ) 連携・協力機関：関係自治体、ボランティア団体、日向市ふるさとの自然を守る会、地区住民、耳川流域森林・林業活性化センター、関係森林組合、教育機関等

ウ) 取組方向：シカ食害防止ネットの設置等による希少植物の保全事業の実施、海岸林クリーン活動の実施、都市住民を対象にした森林・林業体験ツアーの実施、「お届け講座」、「自然観察会」、「体験林業」等の実施

流域名・流域番号	耳川流域（１４６）	担当部署	宮崎北部森林管理署
計画期間	平成２２年４月１日～平成２５年３月３１日		